

平成28年9月30日

釜石市議会議長 佐々木義昭 様

会 派 21世紀の会  
代 表 木村 琳 藏



## 「会派視察報告書」

当会派所属議員による視察調査を下記のとおり実施しましたので、報告いたします。

### 1 【視察項目】

- (1) ① 潮流発電サイトについて
- ② 旧五輪教会堂（世界遺産候補）
- ③ 浮体式洋上風力発電について
- (2) 再生可能エネルギーについて
- (3) 健康マイレージ制度について

### 2 【視察日程】：平成28年8月24日（水）～平成28年8月27日（土）

#### (1) 視察行程

- ① 平成28年8月24日（水） ※ 移動日
- ② 平成28年8月25日（木） ※ 五島市視察研修
- ③ 平成28年8月26日（金） ※ 袋井市視察研修
- ④ 平成28年8月27日（土） ※ 移動日

### 3 【参加者】

「21世紀の会」

- ・ 木 村 琳 藏
- ・ 佐々木 義 昭
- ・ 後 藤 文 雄
- ・ 千 葉 榮

### 4 【相手方】

- (1) 五島市役所 長崎県五島市福江町1-1
- (2) 袋井市役所 静岡県袋井市新屋1-1-1
- (3) 「ラグビーワールドカップ2019」試合開催会場 エコパスタジアム



## 5 【研修概要】

### (1) 研修日及び研修課題

平成28年8月25日(木)

◇ 午前9時10分～午前11時20分

- ① 潮流発電サイトについて
- ② 旧五輪教会堂(世界遺産候補)
- ③ 浮体式洋上風力発電について

◇ 午後1時30分～午後2時30分

再生可能エネルギーについて

※ 洋野町WF研究会(岩手県庁職員2名、洋野町職員1名、洋野町漁協各組合長及び漁協職員5名、(座長)岩手県立大豊島教授)と合同視察

◇ 午後3時00分～午後3時30分

環境省CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業

※ 小型船舶の低酸化〔燃料電池船〕に乗船

(急遽、五島市の配慮により、日本に一隻しかない、燃料電池船に特別、乗船することになったものです。)

### ・ 視察先対応者

「五島市」荒尾正登市議会議長

山田 栄市議会事務局長

林 利則市議会事務局書記

井川吉幸再生可能エネルギー推進室室長

北川教幸再生可能エネルギー推進室室長補佐

古賀崇志再生可能エネルギー推進室係長

荒木弘美再生可能エネルギー推進室係員

### ・ 視察に取り上げた理由

岩手県では、平成28年8月策定した「岩手県東日本大震災津波復興計画」に於いて、三陸地域の創造を目指す「三陸プロジェクト」を掲げ、その一つとして「三陸フィールドとした海洋再生可能エネルギーの研究」の実施を掲げております。

現在、釜石市でも「再生可能エネルギーの取り組み」として、広域ウィンドファームや石炭火力による木質バイオマス等を行い、市への税収面や雇用の面で還元されておりますが、平成27年4月に釜石海域が実証フィールドに選定されたのを機に、新たな産業の創出や雇用、特に低迷して来た基幹産業としての漁業振興への新しい取り組みとして期待されております。

こうした状況から、釜石市とも交流があり、先行して事業を実施されている長崎県五島市の「浮体式洋上風力発電」への行程、産業創出、雇用や漁業振興等への成果や取り組みについて、先進地である五島市を視察研修先に取り上げました。

・ 視察先の概要説明

五島市は、四方を海に囲まれ、豊かな海洋資源に恵まれています。五島市は、「みんなの力で五島を豊かに」のスローガンのもと政策目標を掲げ、子どもたちに島を託すべく、再生可能エネルギーの島づくりを目指しています。しかし、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故を契機に、これまでのエネルギー戦略が見直されました。このエネルギー情勢の変化に対応し、平成26年1月、再生可能エネルギー推進協議会を設置し、産学官民一体となり、エネルギー政策の推進に取り組んでいます。潮流発電については、「潮流発電技術実用化推進事業」として、平成28年度から平成31年度（予定）まで、九州電力子会社の九電みらいエナジーと欧州の海洋エネルギー関連企業、オープンハイドロ、新日鉄住金エンジニアリングなどが長崎・五島沖で大規模な潮流発電の実証実験を継続実施しております。

なお、浮体式洋上風力発電については、平成28年4月、環境省実証事業終了後、日本初の実用機として稼働しております。

◀ 主な質疑応答 ▶ 「午前」

Q：五島市にとって再生可能エネルギーのメリットは？

A：再生可能エネルギーである風力発電や潮力発電等は離島の自然環境に適しており、一部地域で先進的な取り組みが進められております。そこで生み出される再生可能エネルギーを活用することより、離島というハンディキャップを克服し、地域の漁業振興に結びつくと思います。

Q：漁業者への見返りとして何か考えておりますか？

A：売電益の還元を与えればと考えております。

Q：風力発電等による、今後、期待される効果は？

A：事業リスクの軽減と早期環境配慮の両立と再生可能エネルギー供給拠点の創出促進に繋がると思います。

◀ 主な質疑応答 ▶ 「午後」

Q：エンジン船と燃料電池船の違いは？

A：駆動系の音はほとんどなく、低速度時は風に流されているのではと思われるほど静かです。

◀ 視察所感 ▶

現在、当市は「再生可能エネルギー」の取り組みとして、広域ウィンドファームや石炭火力による木質バイオマス等を行い、市への税収面や雇用の面で還元されておりますが、平成27年4月に釜石海域が実証フィールドに選定されたのを機に先行して実施されている五島市の「浮体式洋上風力発電等」への行程、産業創出、雇用や漁業振興等への成果や取り組みについて、視察研修のために訪問させて頂きました。

五島市は、九州の最西端に位置し、本土（長崎港）の西方役100Km、11の有人島と5

2の無人島により構成されており、人口が39,614人と釜石市とほぼ同規模の市となっております。

五島市は、再生可能エネルギー基本構想として、将来、海洋再生可能エネルギー資源を活用し地域産業が活性化し、なお、環境にやさしい再生可能エネルギーにより、安心して生活ができ、環境にやさしい島で市民、そして子供たちが豊かに安心して暮らしができる市にしたいと職員の意気込みを感じた説明でした。

当市においても、今後、漁業・地域協調のメニューの検討、地域主体の企業との連携・育成と地域に対応したエネルギーの利用及び国への要望活動など慎重な取り組みが肝要であると感じました。

## (2) 研修日及び研修課題

平成28年8月26日(木)

◇ 午後1時30分～午後3時00分

健康マイレージ制度について

◇ 午後3時30分～午後4時00分

ラグビーワールドカップ2019試合開催会場見学

### ・ 視察先対応者

「袋井市」 永田 勝美市議会議長

村松 清一市議会事務局長

鈴木 浩方総合健康センター健康づくり課健康企画室長

富山 正俊総合健康センター健康づくり課長

小山 知子総合健康センター健康づくり課健康企画室主任主査

静岡県サッカー協会グループ エコパハウス 営業企画部 山本 沙織氏

### ・ 視察に取り上げた理由

現在、人口の高齢化が進む中で、医療費の増加が問題とされ、その抑制のために次々と医療制度改革が実施されております。

そうした中、三大死因年齢調整死亡率では、岩手県は、全国平均値よりも高く、さらに当市は、その岩手県平均よりも高い死亡率となっております。

当市では、健康づくりに取り組む市民、あるいは健診未受診者に、市の検診受診や健康イベントへの参加を楽しく続けられるよう、検診を促し、健康促進を応援するため、平成28年8月1日から「健康チャレンジポイント事業」を始めました。

この事業が永く市民に親しまれる事業とするため、先進地であり、東日本大震災において、多大な支援を頂いた関係や製鉄のつながりで縁がある袋井市を先進地視察として取り上げました。(袋井市出身の横山久太郎氏は釜石製鉄所の初代所長であり、その縁で東日本大震災時に支援して頂いた。)

また、釜石市と同じく、ラグビーワールドカップ2019の会場に決定した袋井市愛野にあるスタジアム、静岡県小笠山総合運動公園、及び静岡県サッカー協会グループで運営し

ている観客席が50、889席あるエコパスタジアムを視察として取り上げました。

・ 袋井市の概要説明

健康マイレージ制度は、平成19年度から実施しており、毎日の健康づくりの実践記録をポイント化し、貯めたポイントを公共施設の利用券や民間の登録サービス券と交換、あるいは幼稚園や学校等へポイントを寄付することにより、人づくりやまちづくりに貢献できる制度です。

また、参加方法は、18歳以上の成人と、3歳から15歳未満（中学生まで）の子どもに分かれています。

18歳以上については、『すまいるカード』でポイントを貯める方法の他、『e-すまいる（携帯電話、パソコン）』でもポイントを貯めることができ、貯まったポイントは、ポイント数に応じて、23種類のサービス券と交換とできます。また、子どもについては、ポイントは個人に発行せず、全て、通園、通学する学校等に帰属することとしており、すまいる報償金として、学校等に支払いします。学校等では、教育費教材の購入などに使用しております。

◀ 主な質疑応答 ▶ 「健康マイレージ制度」

Q：健康マイレージ制度について、多くの市民が参加するために、何か、考えたことはありますか？

A：参加方法1と2を考えました。参加方法1とは、すまいるカードを活用することで、参加方法2とは、e-すまいる（携帯電話・パソコン）を活用する方法を考えました。1のすまいるカードを活用する方法とは、運動系の健康づくり、食事系の健康づくりの目標を自分で立て実践すること、参加方法2とは、e-すまいる（携帯電話・パソコン）を活用する方法で、携帯電話・パソコンを利用して実践状況を入力することです。また、子ども達の参加方法は、すまいる手帳を活用して、「健康づくり（食育）」と「徳育」の2つの取組目標をそれぞれ立てて実践し、そのポイントは、各学校等が実践状況を集計して市へ報告・提出し、市は実践状況に応じて学校等に報償金を支払い、各学校では、その報償金で本などを購入しております。

Q：実践状況に応じて学校等に報償金を支払い、各学校では、その報償金で本などを購入しているということは、本当に素晴らしい事だと思いますが、学校の先生から反対等はなかったのですか？

A：当初は、反対や文句も言われましたが、ポイントに応じて、欲しい物が購入できるという事で、今では、積極的に動いております。

Q：参加者の状況は、どのようになっていますか？

A：参加者（利用者）は、平成27年度、大人は、1、846人で子供は9、219人となっており、年々増加しております。

Q：参加者への年間の報償金としての支出（予算額）はどのくらいですか？

A：平成27年度は、1、083、014円となっております。

※他にも、何点かの質問があった。

〈 視 察 所 感 〉

袋井市は、平成19年から「健康マイレージ制度」として取り組んでおります。

また、誰もが、できる限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域の保健・医療・介護・福祉などが連携して、必要とされるサービスが一体となって切れ目なく提供される仕組み（地域包括システム）を実現するため、「自助」「互助」「共助」「公助」という4つの役割を分担して豊かな社会づくりに取り組んでおります。健康マイレージ制度においては、日本一健康文化都市を宣言して頑張っており、金銭的インセンティブの付与により、正しい生活習慣（運動・食）への動機付け支援と、その定着化をめざしております。健康づくりポイントでは、貯まったポイントを公共施設利用や民間の登録サービス券と交換や幼稚園や学校、市の基金等へのポイント寄付を通じて、社会貢献ができる制度をつくるなど、斬新な考えで市民の健康、元気な町にするために取り組んでいると感じました。

釜石市が、平成28年8月1日から始めた、「健康チャレンジポイント事業」で、市民が、健康づくりをしやすい機運の醸成、健康づくりと健康的な生活習慣の定着を促し、健康づくりが人と人、人やまちを幸せにすることを理念として、健康づくりができるよう、私達議員も、いろいろ議論を交わし、会派として、本研修を活かしていきたいと思っております。

- ・ ラグビーワールドカップ2019試合開催会場見学（机上での説明はなかった）

◇ 午後3時30分～午後4時00分

〈 主な質疑応答 〉 「スタジアム」

Q：エコパスタジアムの年間のスケジュールと利用数は？

A：平成27年度ですが、使用件数174件、利用者数113,784人、観客数315,184人、来場者数428,968人となっております。

Q：エコパスタジアムの年間の全維持管理費は？

A：人件費、照明や施設メンテナンス等、年間の維持管理費は、約3,000万円くらいです。

Q：エコパスタジアムの規模は？

A：割愛して、説明させていただきますが、観客席50,889席、補助競技場も第3種公認陸上競技場で駐車場は、普通車約3,000台、大型バス150台、障害者用50台となっております。

〈 視 察 所 感 〉

当市は、ラグビーワールドカップ2019開催会場に決まったことから、同じく、開催決定し大会の成功に向け取り組んでいる、静岡県小笠山総合運動公園エコパスタジアムを見学しました。エコパスタジアムは、観客席が50,889席と16,000席の釜石市は小規模で管理が県ではなく、市で管理する事に驚いておりました。

今後、釜石市の復興を成し遂げ、市民が元気になり将来子ども達に夢と自信を持っていくための手段であり、その為にも、議員が市民への理解と協力を求める努力をするべきと感じ

ました。

## 6 【その他】

- ・ 別添、写真、資料参照

## 釜石市議会 21世紀の会 行政視察

● 1日目 (花巻空港 ~ 福岡空港) 飛行機内からの撮影

・ NO 1



・ NO 2



● 二日目 五島市視察

「洋上視察」 9:10 ~ 11:20 ※洋野町WF研究会と合同視察

・ 五島市港



・ 海上タクシー



・乗船前に担当者から今後の予定を説明



・潮流発電についての説明

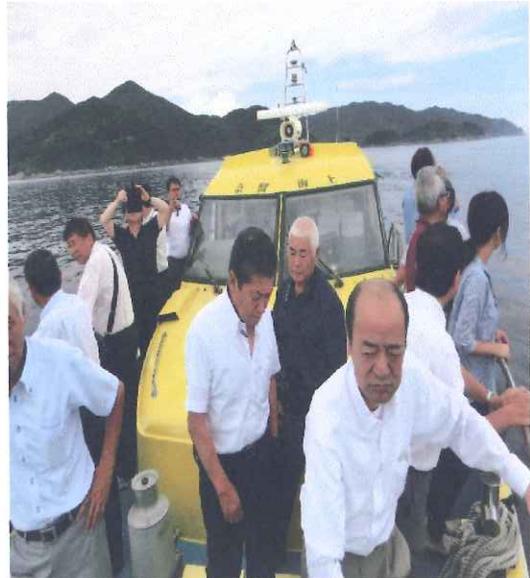


・潮流発電場所視察

・NO 1

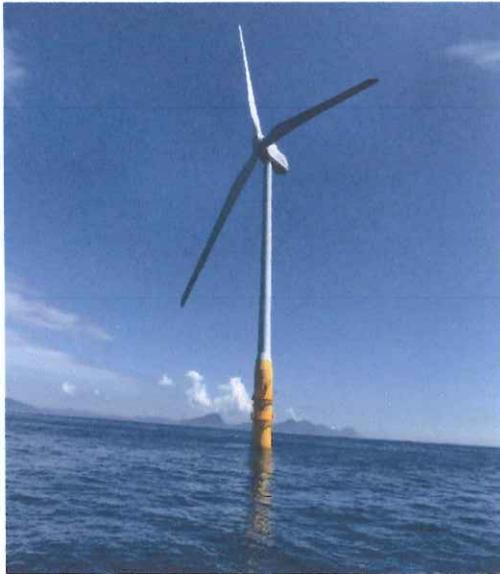


・NO 2

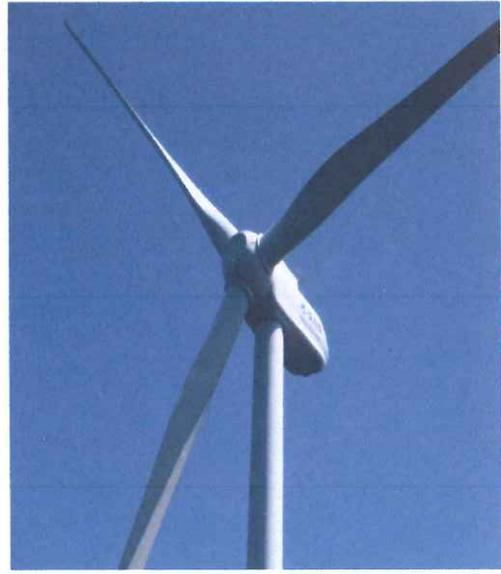


・浮体式洋上風力発電所見学

・NO 1

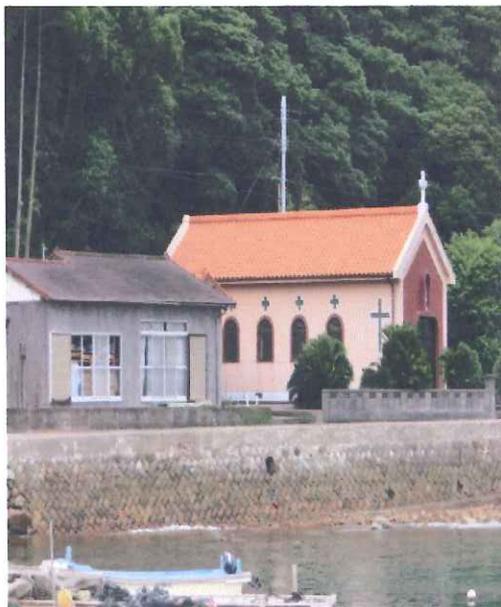


・NO 2



《 世界遺産候補・長崎の教会とキリスト教関連遺産見学 》

・旧五輪教会堂 NO 1



・旧五輪教会堂内部 NO 2



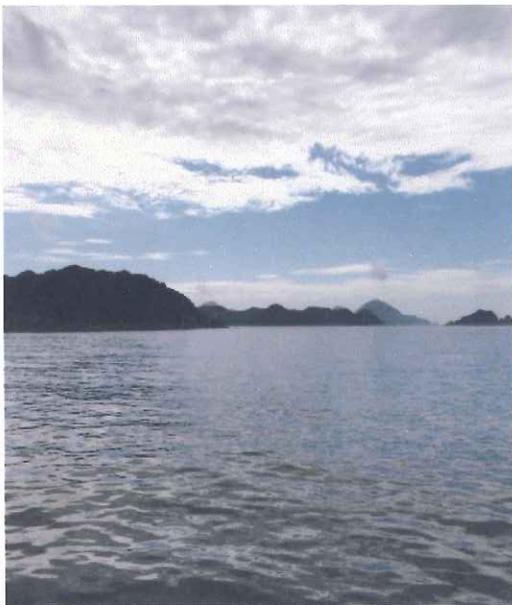
・旧五輪教会堂 担当者 NO 3



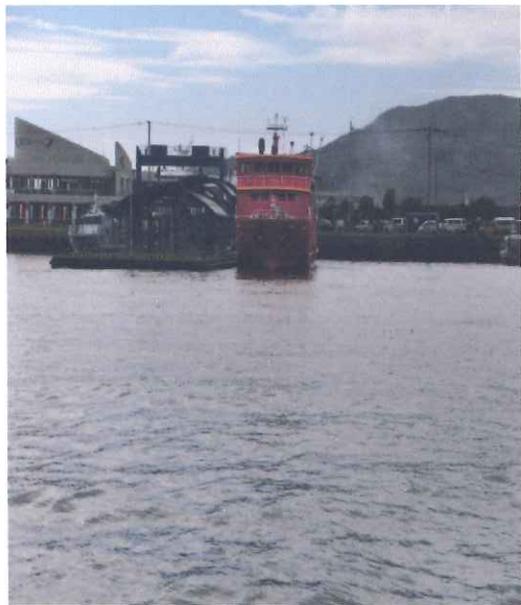
・旧五輪教会堂前で撮影 NO 4



・五島列島無人島風景



・五島港



《 再生可能エネルギーについて研修 》 13:00 ~ 14:30

・研修状況 NO 1



・山田事務局長 北川室長補佐説明 NO 2



・研修状況 NO 3



・研修終了後 五島市役所前で撮影



《 燃料電池船見学 》 15:00 ~ 15:40

・燃料電池船 NO 1



・燃料電池船前で撮影 NO 2



● 三日目 袋井市視察

「健康マイレージ制度について」研修 13:30 ~ 15:00

・袋井市 永田勝美議会議長歓迎の挨拶

・佐々木義昭議長挨拶



・木村代表お礼の挨拶

・健康づくり課

富山課長 小山主査説明 NO 1



• NO 3



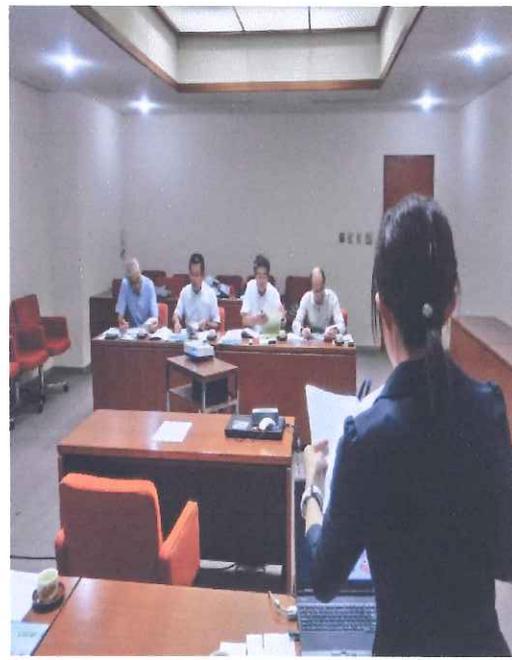
• NO 4



• NO 5



• NO 6



・ NO 7



・ 袋井市役所前で撮影 NO 8



《 ラグビーワールドカップ2019開催会場エコパスタジアム見学 》

15:30 ~ 16:15

・観客席 NO 1



・球技場 NO 2



・音響機器 NO 3



・音響機器 NO 4



• 観客席 NO 5



• 観客席 NO 6



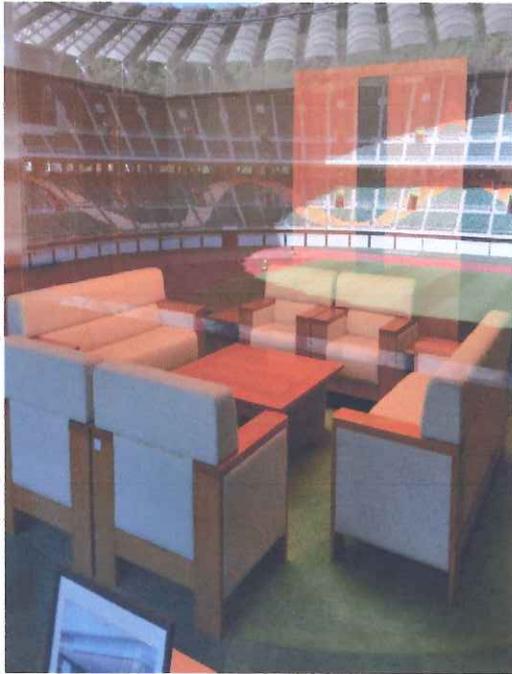
• 車いす専用観客席 NO 7



• 車いす専用観客席 NO 8



・応接室 NO 9



・芝生の状況 NO 10

